

空き家流通に係る補助金（京都市）登場



今や喫緊の課題となった空き家・空地について、各行政機関では様々な施策を講じています。京都市では新たに本年度と来年度の限定で①空き家又は居住していた中古住宅の売却と②解体工事施工の両面で補助金を交付する制度が始まりました。

具体的に、①では、中古住宅の売買契約時に必要となる仲介手数料の半額（上限 25 万円）が補助されます。②では解体後に住宅を新築するとか売却する場合、昭和年代とそれ以前に建築された敷地 50 m²以下の比較的小規模の古家の解体工事に対し、工事費用の 1/3（上限 60 万円）が補助されます。（京町家は別規定です。）

役所の補助金の通例として、細かい規定・手続きが定まっていますので、当社 3 名の「京都市地域の空き家相談員」又は京都市の担当窓口にご相談下さい。

（TEL 075-231-2323 住宅政策課）

（地域の空き家相談員 岡本秀巳 社主）

分譲マンション、2つの老いに向かって

8月23日に開催の一般社団法人京都マンション管理評価機構の研修に参加してきました。

京都市において入居者の高齢化とともに分譲マンションの高齢化が進み、10年後の京都市内では築30年以上となる分譲マンションが全体の半数以上になる見込みとなるようです。更なる老朽化が進行することに伴い、社会的資産としての持続可能な維持管理が求められる時代になり、その管理と管理情報に価値を置く必要があるという内容でした。

その為にはマンション管理情報を流通市場に公開し、購入者への安心感を提供できる仕組み化が必要であること、また日本は国際的に見ても中古住宅より新築住宅を好む国民性である価値観のパラダイムシフトが肝になると感じた研修でした。



中古物件の購入を検討されるお客様に対して安心感が可視化出来る様になれば、予算面だけで中古物件の購入を考えていた購入者様に選択肢が増え、不動産市場の活性化にもつながると思いますので、より購入者目線での法整備が進むことが必要であると感じました。

（不動産営業課長 古田通）

設立 50 周年を心よりお祝い申し上げます。（寄稿）

この度の、貴社設立 50 周年を心よりお祝い申し上げます。

先に創設 40 周年の記念式典の席に、列席させていただいてから早 10 年が経過したことを感慨深く思い起こしております。

10 年間の社会全般の激動・変動は著しく、中でも、コロナ感染拡大は、これまでの働き方・テクノロジーに変革をもたらしました。マイナス状況から生まれる進歩・改革もあるのだと、打撃を乗り越える人間の英知に希望を見出します。

設立 50 周年に引き続き、貴社が、この後も、昨今の厳しい暑さの中に負けないくらいの大きな熱量をもって、事業の場を伸張され、まだまだ大きく業績を伸ばし、社会貢献にも取り組まれますことをご期待申し上げます。

（弁護士 田中 伸）



創立 50 周年、おめでとうございます！ (寄稿)

(株)都ハウジング様が創立 50 周年という節目を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

「みやこ四方よし」を社是とされ、社員の皆様一人一人が“社会の役に立つ”ことを意識して仕事に取り組まれてきたことが、「都ハウジングがあってよかった」というお客様からの評価に繋がったのに違いないと思っています。特に、早くから京町家の保全活用、空き家の活用相談、高齢者等の居住支援に尽力してこられたことに、改めて心から敬意を表します。

私どもの協会においても、2代にわたり評議員として永くご活躍いただき、主に不動産相談委員として消費者の皆様に寄り添い適切なアドバイスをして頂いています。また、定時総会において、事業計画に対して貴重なご意見を賜り、新たな事業として取り組ませていただいたこともございました。

今後も、地域に根差した不動産コンサルタント、信頼される宅地建物取引業者として、地域とともにますます発展されますことをご祈念申し上げます。
(公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会 会長 伊藤良之)



設立 50 周年を祝し、団体活動に感謝 (寄稿)

出会は「京都中央不動産取引センター協同組合」、昭和の終わりである 40 年以上前、開業したての私は人脈を広めようと、色々な会合に顔を出していました。その「中央不動産取引センター」でやたら元気な経営者がおられました。それがいまの岡本社主。話す内容は理路整然としており、反論の余地なし。この人すごい！と思いました。

それからお付き合いが始まり今日に至ります。

その後センターは解散しましたが、京都府不動産投資顧問業協会から、京都府不動産コンサルティング協会の設立へと、常に「業界のリーダー」を務めて来られました。今や岡本社主は業界きっての「重鎮」のおひとりです。

ただ今私は高齢社会の到来を見据えて岡本社主を中心に創設された「一般社団法人相続相談センター」の 2 代目理事長を継承していますが、相談は途切れることなく創設メンバーの先見の明に感服しています。

今後も元気で「天の声」を聞かせていただき、地域の発展、業界の発展に尽くしていただきたいと思います。

(一般社団法人相続相談センター理事長 井上誠二 (株)彩里 会長)

自作のスイカを手にする筆者



50 周年記念粗品をお配りしました。(記念事業⑦)

社歴 50 年とは言え、まだまだ事業活動に苦勞していました前半期において、営業成績を支えていただきましたお客様、周辺で協力・支援をいただいた皆様、当時社員として頑張ってくれた人達等に対して、創立 50 周年の記念品を調製し、お配りしました。古い方々とはつつい疎遠となってきてますが、50 周年の礎として貢献していただいたことに変わりませんので、記念品贈呈により改めて謝意を表す次第です。



記念品は黄色の二巾の木綿風呂敷で、六角の亀甲紋で祝意を表しています。袋はたとう紙で特注し郵送に備えました。SDGs の風潮で風呂敷が見直されています。日常使いとしてご利用いただきます様お願い致します。
(岡本三保子 専務)

社休日

9月16日(月・祝日)

23日(月・祝日)

10月14日(月・祝日)

休日時間外 TEL

0800-919-6501